

第8回「みなかみ町協働のまちづくり委員会」会議録

1. **開催日時** 平成21年7月15日(水) 午後7時～午後8時40分
 2. **開催場所** 役場本庁6階 第2会議室
 3. **出席者数** 18名(委員14名・事務局4名) 詳細は席次表のとおり
 4. **開 会**
 - ・事務局が開会を宣言する。
 - ・事務局が欠席委員3名を報告する。(速水委員、山田委員、平原委員)
 - ・事務局が会議資料の確認をする。
(事前郵送資料：前回会議録案、委員会名簿、行政評価アンケート集計表)
(本配布資料：次第、資料1、宮原町新総合振興計画、まちづくり情報銀行)
 5. **委員長挨拶**
 - ・松井委員長が挨拶する。
 - ・今回新しく委員になった樋口委員が挨拶する。
 - ・石坂前課長が6月30日に退職され、7月1日より宮崎課長となった。
 6. **協議事項**
 - ・松井委員長が議長となり、以下のとおり進行する。
 - (1) **第7回委員会会議録案の確認について**
会議録案のとおり訂正なしで承認される。
 - (2) **まちづくり協議会設立準備会について(資料1)**
 - ・事務局が資料1に基づき説明する。月夜野地区は、会長に馬場春夫さん、副会長に高橋市郎さん、水上地区は、会長に速水一浩さん、副会長に福井誠さん、新治地区は、会長に山田庄一さん、副会長に阿部賢一さんが準備会の正副会長に選任された。
- 【委員から出された意見】**
- ・月夜野地区は、全区長が準備会に参加したがとまどい気味であった。まちづくりには拠点が必要であり、拠点をどこにするかが問題である。
 - ・水上地区は、2回準備会を行った。区からの選出者と推薦者を取りまとめた。今月29日には第3回準備会を開催し、その後設立総会を行う。
 - ・新治地区は、協議会設置について全員の同意を得た。女性の参加とまちづくりに熱心な方に協議会の構成員になってもらうため打診をしている。

(3) 情報の共有について

- ・第6回委員会（平成21年5月13日）で配布した資料2「みなかみ町の情報提供と共有について（委員提案のまとめ）」に基づき提案1～9を各提案者から説明してもらう。

<提案1について>

- ・馬場委員が本日配布した宮原町新総合振興計画及びまちづくり情報銀行の資料に基づき説明する。宮原町は、人口約5,300人、「火の心」「水の心」「里山の心」というテーマを掲げてまちづくりを実践している。まちづくりの拠点として、情報銀行を14地区に設置し、地区毎にまちづくり活動を行っている。まちづくり活動は、地区毎に事業内容と事業費が異なり、事業費の総額は約300万円であるが、資金の奪い合いになっていない。この取組を見てまちづくりの拠点となる場所が必要と考えた。また、まちづくりの拠点となる場所を提供してほしいので事務局で検討していただきたい。

<提案2について>

- ・鈴木委員が説明する。役場職員と町民の距離を縮め、情報を聞きやすい環境づくりをしてほしい。また、地区毎に役場職員の担当制を設けてほしい。

【委員から出された意見】

- ・新潟県津南町のようにしたらと思う。郵便料の節約とコミュニケーションをとるために、出身地区の職員が週2回、通知文を持って行く。また、金融機関のように机の配置を換え、担当以外も対応できるようにした。
- ・長野県中条村は、役場職員がスーパーで研修を行っている。職員の意識改革と少数精鋭の組織を目指している。また、職員の意識が変わったことで住民の意識も変わったと聞いている。

<提案3について（その他の意見）>

- ・提案者から説明なし。

【委員から出された意見】

- ・町内に住んでいても町内の文化財や名所旧跡を知らないことも多いと思う。歩いてみると面白いところがある。また、町内の城址に行ってみたが、トイレや案内看板などお客さんを迎える体制づくりができていないと思う。
- ・そんなことも知らないで、協働のまちづくり委員をやっているのかと言われないうようにする必要があると思う。また、ヤマキの企業誘致の進捗状況について聞かれたが答えられなかったので、情報提供や勉強会を行ってほしい。

<提案4について>

- ・提案者から説明なし。

【委員から出された意見】

- ・行政は、やるべきことをやってほしい。
- ・町のホームページは、子育て健康課など町の組織が更新されていない。また、全体的に更新が遅いと思う。
- ・最近、役場の電話対応がよくなったと思う。

<提案5について>

- ・田村委員が説明する。町職員が各職場等に出向いて情報収集を行ったらどうか。認定こども園の子育て支援センターには、若い女性など多くの人が集まっている。

【事務局からの説明】

- ・ホームページの更新は、専門職員がいるわけでないので更新が遅れる場合がある。町職員は、合併時400名いたが現在は310名で、今後は240名になる見込みである。このような状況で、町職員が情報収集できるのか疑問である。

【委員から出された意見】

- ・町職員は、地元行事へ積極的に参加するべきと思う。
- ・温泉フェスタを開催したが、町職員の参加が少ないように感じた。参画と協働のまちづくりを目指すのであれば積極的に参加するべきと思う。町職員は、ボランティア精神を持ってほしい。
- ・町の仕事に対し職員何名が必要なのかを把握することはできないのか。町の仕事が手一杯であれば、職員を240名まで削減する必要はないと思うが、余裕であれば当然減らすことになる。どちらなのか明確にすべきと思う。

【事務局からの説明】

- ・生産ラインのようなものであれば把握することは可能であるが、町職員が何名必要なのかを把握することは難しいと思う。もしかしたら、町職員を削減しても極端に行政サービスは低下しないかも知れない。

【委員から出された意見】

- ・行政サービスとは何なのか？人員削減をしたら行政サービスは低下すると思う。
- ・人が来ないのは、魅力がないからだと思う。行動を起こさない人はダメだと思う。
- ・町職員は、現場へ行って町民の生の意見を聞く姿勢を持ってほしい。

【事務局からの説明】

- ・人材育成方針の会議で、町民の意見を聞くことは大切であるという意見が出た。町職員が地域のお祭り等になるべく参加するように意識改革を行っている。また衛生施設事務組合を直営で行っているため、その分の職員数は他の町村とは違う。

<行政評価アンケート集計について>

【委員から出された意見】

- ・アンケート集計表のQ10（P3）のみなかみ町防災マップを見たことがない人が66.4%、Q11（P3）の地域の災害時避難場所を全く知らない人が39%、Q12（P4）の家に鍵をかけている人が38.7%である。町民の防災意識があまりないことが伺える。

（４）その他

<協働のまちづくり委員の推薦について>

- ・鈴木委員が中澤裕子さんを推薦する。
大穴区在住。気まま屋の設立メンバー、大穴の御輿の再興者、子育てにも熱心である。
- ・事務局が鈴木祐子さんを推薦する。
奈女沢在住。きたっこクラブ（学童保育）をボランティアで行っている。

推薦者2名を委員とし、次回の委員会から出席してもらうことで承認される。また、地区まちづくり協議会の構成員として活躍してもらうことで決定する。

<今後の委員会の進め方について>

- ・事務局が説明する。今後、委員提案で委員会を進めていただきたい。

【委員から出された意見】

- ・町内でまちづくりに携わっている人を呼んで話をしてもらいたい。
- ・講演会、シンポジウム等を検討したいと思う。
- ・9月頃に視察を行いたい。その後、課長の歓迎会を行いたい。

次回委員会の会議内容及び視察については、委員長と事務局で検討することで決定する。

<次回委員会の開催について>

第9回委員会は、平成21年9月15日（火）19:00～本庁6階第2会議室において開催することで決定する。

7. 閉 会

- ・事務局が閉会を宣言する。

第8回「みなかみ町協働のまちづくり委員会」 席次表

日時：平成21年7月15日（水）19：00～

場所：みなかみ町役場（6階）第2会議室

